

(事業者の皆様へ) ヤンバルトサカヤスデの まん延防止に御協力ください

ヤンバルトサカヤスデは、1956年に台湾で発見されたヤスデの一種です。日本では、1983年(昭和58年)に沖縄県で初めて確認され、鹿児島県においては、1991年(平成3年)に徳之島町で大量発生して以来、奄美地域、南薩地域を中心に棲息域を拡大し、現在、県内20市町村※で確認されています。

ヤンバルトサカヤスデの拡大は、人為的な移動によるところが大きく、まん延防止には関係する事業者の皆様の御協力が必要です。

※ 奄美市 大和村 宇検村 瀬戸内町 龍郷町 喜界町 徳之島町 天城町 伊仙町 和泊町 知名町
与論町 鹿児島市 枕崎市 指宿市 日置市 南九州市 屋久島町 南さつま市 出水市

ヤンバルトサカヤスデとは？

- ヤンバルトサカヤスデは、台湾原産の外来生物です。落ち葉や腐葉土のような腐った植物質を餌としており、日光の当たらない湿った場所を好みます。
- 人や農作物に直接被害を与えることはありません。しかし、繁殖力が強くおびただしい数の集団で移動するため見る人に強い不快感を与えます。



◆在来種のヤスデ



体長 / 2cm 以内
色 / 黒褐色

0 1 2 3 (cm)

◆ヤンバルトサカヤスデ



体長 / 2.5cm~3.5cm
色 / 黄褐色~茶褐色

0 1 2 3 4 (cm)

ヤンバルトサカヤスデの一生

- 卵→幼虫→亜成体→成虫と発育し、一生は約1年余です。
- 交尾期は10月~11月頃で、交尾後約1か月で産卵します。
- 集団移動時期は、年に2回あり、4月~6月頃に幼虫の集団移動、10月~11月頃には、成虫の集団移動が起こります。
- 湿度の高い雨上がりの夜によく集団移動します。

まん延防止対策

ヤンバルトサカヤスデの拡大の原因は、人為的な移動によるものがもっとも大きいといわれています。

具体的には、園芸樹木等の根付き植物や鉢植え、堆肥等の農業資材、工事現場の残土などとともに卵等が運ばれ、棲息域が拡大していきます。

このため、まん延の防止には、地域住民の方々のご協力はもとより、園芸業、農業、建築業などの関係業者の皆様のご協力が不可欠です。

● 園芸業者の皆様へお願い ●

- ヤンバルトサカヤスデの発生地域から、根付き植物、鉢植え等を極力持ち出さないようにしてください。
- やむを得ず根付き植物を持ち出す場合には、株元・根回り部分の土にジョロ等を用いて、十分に薬剤を注ぎ込んでください。
- 鉢植えについても、根付き植物と同様にジョロ等を用いて処理するか、または鉢全体を薬剤に十分浸してください。

● 農業者の皆様へお願い ●

- ヤンバルトサカヤスデの発生地域から、堆肥、敷きわら、芋づる等を極力持ち出さないようにしてください。
- やむを得ず持ち出す場合には、移動の前に薬剤で処理してください。
- ヤスデが幼虫の時期（奄美地域：11月～6月頃、南薩地域：1月～8月頃）は、外部からの刺激に非常に弱いため、この時期に田畑の天地返しを行ってください。
- 水田等のかん水が可能な場所では、4～5月頃に一時的にかん水することで、生息個体を一掃することが可能です。

● 建設業者の皆様へお願い ●

- ヤンバルトサカヤスデの発生地域での工事で発生した残土、伐採木等は、極力地域内で処分するようにしてください。
- やむを得ず地域外で残土を処分する場合には、1日分の土を積み重ねるようにし（土の重さでヤスデが圧死する。）、最後の1～2台分の土は薬剤で処理してください。
- 伐採木等を地域外で処分する場合は、移動の前に薬剤で処理してください。
- 現場に出入りする際には、工事車両のタイヤ周りや機材等を薬剤で処理してください。

詳しくはお住まいの市町村役場又は
県廃棄物・リサイクル対策課(099-286-2594)にお問い合わせください。

